

The Third Pacific Rim Thermal Engineering Conference 成果報告書

報告者：片岡太志

発表テーマ：Structures of the Flame Base Formed in a Crossflow Behind Burner Rim

開催日：2024年12月16日

会場：ハワイコンペンションセンター

参加目的

本学会は、熱工学全般における最先端の研究成果や技術を共有する場であり、伝熱学の研究者にとっても重要な情報源となります。熱工学の理論と実践に関する最新知見を提供する機会であり、伝熱研究の進展に大きく貢献する場として価値が高いと考えられます。

私が参加した目的は、燃焼研究に関連する熱伝導や輻射などの複雑なプロセスについて深く理解するとともに、研究手法の正確性や応用可能性を明確にするために必要な議論やフィードバックを得ることです。また、他の研究者とのネットワークを構築し、新たな共同研究の機会を得ることも重要な目的の一つです。

参加結果

研究発表の成果

私の発表は、「火炎の安定性」をテーマに、火炎基部に関する詳細なデータとその解析結果を共有する内容でした。会場では、多くの専門家から貴重なフィードバックをいただき、研究の方向性を再確認するとともに、新たな視点を得ることができました。また、導入手法の精度や今後の改良点についても具体的な意見をいただき、研究の質を向上させる大きな助けとなりました。

その他の成果

学会を通じて、伝熱に関連する最新の研究成果を学び、研究室内でも共有しました。これにより、私自身だけでなく、研究室全体の伝熱に関する理解が深まりました。また、他の研究者との交流を通じて、新たな研究課題の発見や共同研究の可能性が広がり、学術的な視野を広げることができました。

助成金使用内訳

助成金（40,000円）は以下の目的で使用しました：

- ・学会参加費（66,530円）

発表の様子

